

令和3年度 東部小PTA活動方針（案）

<活動テーマ>

みんなで つくろう！PTA

KTA活動を進めよう！ 交流を広めよう！

<具体的実践内容>

PTA活動や地域の行事に参加しよう。

- ・ 懇談会、交流会、PTAの日
- ・ 交流センター活動、子供会活動

地域の良さを見付け、
美化活動に取り組もう。

- ・ 地域花壇作り

K …… きれいいっぱい

T …… ともだちいっぱい

A …… あいさついっぱい

豊かできれいな心が
育つ環境を作ろう。

- ・ 相手の違いを認め合う。
- ・ 命の大切さを知る。

いつでも、どこでも、誰とでも、
挨拶の声を響かせよう。

- ・ 大人も子どもも、心に届く挨拶を
- ・ あいさつ運動

家庭でのKTA活動

- ・ 規則正しい生活
- ・ 親子一緒にの行事参加

東部小スマートフォンの取り組みについて

- ・ 個人情報の流出、いじめ、ネットトラブルに巻き込まれないよう保護者が責任をもってフィルタリングサービスなどを使って管理し、機能を制限する。
- ・ 午後8時以降使用をしない。

子供の性被害防止に向けた共同メッセージ

保護者の皆さん、お子さんの成長の実感は、何物にも変えがたいものではないでしょうか。初々しいお子さんたちも、学校生活の中で、心も身体も大きく成長されていくことと思います。

さて、県下では、わいせつや児童ポルノなどの性被害に遭う子供が後を絶ちません。そこで、お子さんがこれらの犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心な生活が送れるよう、御家庭で注意していただきたい点を3つ、お願いします。

1点目は、「知らない人についていかない」ということです。

小学生になると、友だちと外で遊んだり、一人で外出したりする機会が増えると思います。子供だけで外出するときには、必ず行き先や帰宅時間を確認し、「知らない人についていかないでね」と一声かけてください。

2点目は、「嫌なことをされたら、すぐに家族か学校の先生に言う」ということです。

小学校低学年になれば「性」に関することに対して恥ずかしいというイメージを持っているお子さんも多いため、保護者にも話すことができずに我慢してしまい、その結果、繰り返し被害に遭うケースが少なくありません。

子供は無警戒で無防備ですので「下着や水着で隠れているところを撮影されたり、触られたりしたらすぐに話してね」と教えることが大切です。また、過度に露出の多い服装をさせないこともお子さんを守ることに繋がります。

3点目は、「インターネットの利用」についてです。

近年では、小学生にとってもインターネットの利用は身近なものとなっています。しかし、子供の性を目的とする悪い大人の多くが、子供と接触するためにインターネットを悪用しています。

お子さんに、保護者のスマートフォンを貸し与えたり、インターネットに接続できるゲーム機を使用させたりする場合は、インターネットの正しい利用方法について、しっかり教えてください。また、フィルタリングを利用して、お子さんが危険な情報に触れないよう、見守っていただくことも大切です。

万一、お子さんがこのような犯罪被害に遭ってしまった場合は、すぐに学校や警察に相談してください。子供を性被害から守るため、御協力をお願いいたします。

令和3年4月
静岡県教育長
静岡市教育長
浜松市教育長
静岡県警察本部長

東部小学校PTA安全な環境を保全するための取組

東部小学校敷地内及び周辺における児童の安全と円滑な学校運営のために、以下の取組を実践していきましょう。

1. 学校敷地内に乗用車を駐車する時は、必ず事務室に報告し、許可を取りましょう。また、駐車場に指定されたエリアが満車の場合は、駐車場への進入を控えましょう。

【理由】

駐車場が乗用車でいっぱいになることで、思いがけない事故が起きやすくなります。また、学校関係者、業者の車両、緊急車両が駐車場に進入できなくなります。

2. 学校周辺での路上駐車はやめましょう。

3. 行事等で学校に往訪する際は、学校が指定する時刻に合わせて往訪しましょう。過度に早い時刻に来て、学校周辺に待機、滞在することは控えましょう。

【理由】

学校管理者が不在の時に学校敷地内、および周辺に滞在することは、学校の管理運営の妨げになります。また、トラブルが発生した際の対応が困難になります。さらに学校近隣の住民の方への迷惑となります。（ごみの放置、騒音、交通の妨害が発生します）

4. 児童、教職員、保護者を対象とした録音、動画撮影、静止画の撮影、また、それらのデータをインターネット上にアップロードすることは、学校または対象者の許可がない場合はおやめください。

【理由】

無断での撮影等の行為は不審行為と誤解されるおそれがあります。また撮影、録音データを用いて個人が特定される形でインターネット上に情報を拡散するような行為は回復しがたい影響を与えることになります。

5. 学校敷地内に場所を占有するような大きな物品、設備を持ち込むことは控えましょう。学校が許可している場合でも、必ず決められた場所に設置しましょう。

【理由】

すぐに移動できない物は緊急時の対応の妨げになる場合があります。

平成29年度東部小PTA総会で承認

[Problemas a ser consideradas para o propósito de obter a garantia de segurança na Escola Toubu Shougakkou.]

Vamos considerar os seguintes itens para a segurança das crianças dentro da área escolar Toubu e também para a que a administração escolar seja realizada sem maiores problemas.

- 1- Ao estacionar no estacionamento dentro da área escolar,deverá informar a secretária da escola para receber a autorização.Caso o estacionamento estiver lotado pedimos desculpas e evitem estacionar.

[Motivo]

Os acidentes ocorrem mais em locais lotados pois ao procurar por uma vaga perdemos um pouco da concentração.Outro ponto é que fica difícil a entrada e a saída dos veículos de emergencias e também dos veículos das empresas que fornecem materiais para a escola.

- 2- Proibido estacionar nas ruas ao redor da escola.
- 3- Ao visitar ou na necessidade de comparecer à escola por favor comparecer no horário indicado /marcado.Caso venha muito cedo e ficar esperando na ou na rua ao redor da escola poderá criar problemas.

[Motivo]

Caso de ausencia dos funcionários da escola,e ficar esperando dentro da área escolar como fora nas ruas,poderá criar algum problemas para a administração escolar. Também poderá provocar falta de consideração ao moradores da região.(Proibido jogar lixos,sons altos e outros,pois poderá provocar impedimento no transito)

- 4- Não poderá postar na internet fotos e as imagens das crianças,pais e responsáveis e também dos funcionários sem a permissão da escola,pois poderá criar problemas de direitos de privacidade.

[Motivo]

Fotografar/filmar em permissão poderá causar problemas.Ou postar na internet imagens gravadas ou dados pessoais que não se apagará e não tem mais retorno,causando sérios problemas.

- 5- Por favor evitar trazer objetos muito grandes(para guardar locais,).Mesmo que tenha recebido a autorização da escola,vamos arrumar e colocar em locais indicados.

[Motivo]

Objetos com dificuldade de locomoção rápida poderá ser obstáculo em casos de emergencias.

台風等による暴風警報等発表時及び解除時等の対応基準

磐田市教育委員会

時刻 情報	家庭	学校・園	
	登校前	午前	午後
注意報	○登校	○通常通り	○通常通り ・状況に応じて下校
警 報	○自宅待機	○残留 ・状況に応じて下校	○残留 ・状況に応じて下校
解 除	○午前10時前 登校 ○午前10時以後 休校		

※「気象等に関する特別警報」

時刻 情報	家庭	学校・園	
	登校前	午前	午後
特別警報	○自宅待機	○残留	○残留
解 除	○自宅待機	○安全が確認されたのち、下校又は保護者引き渡し	

◎ 原則として学校長・園長が判断する。

【留意点】

- ・ 特別警報は、警報の発表基準をはるかに超える異常な現象が予想され、重大な災害が起こるおそれ著しく大きい場合に発表される。
- ・ その他の警報（暴風雪、大雨、大雪、洪水等）が発表され、この基準によりがたい場合には、児童生徒等の安全を第一に考え、学校長・園長の判断により措置を講ずる。この場合、速やかに教育総務課に報告する。
- ・ 停電等が発生し、学校において午前6時30分の時点で電気または水道が不通の場合は、原則休校とする。この場合は、学校・園ごとの措置とし、電気・水道の両方が復旧するまで継続する。停電時の保護者等への連絡については、「いわたホットライン」等、使用可能な連絡手段を用いて行う。
- ・ 電気・水道の両方が復旧し、安全に配慮して学校を再開するにあたり、児童生徒を弁当持参で登校させる場合は、各家庭で用意できる食料（菓子パン、家に備蓄してある非常食等）を持参すればよいことを周知する。
- ・ 保護者引き渡しについては、兄弟姉妹関係を配慮し学府（中学校区）ごとに引き渡し体制の確認をする。また、保護者への事前周知を徹底し、学校・園の対応を明確にする。
- ・ 自宅待機や休校措置をとった場合、その後の登校に関する家庭への連絡は「連絡網」や「いわたホットライン」を利用する。
- ・ 気象状況によっては、教育委員会の判断により対応を「ファクシミリ」、「メール」、「いわたホットライン」等で指示する場合がある。
- ・ 家庭への連絡は、連絡網や「いわたホットライン」を利用する。なお、「いわたホットライン」への登録を随時奨励し、その推進を図っていく。
- ・ 外国籍児童生徒等の家庭には外国籍保護者同士のネットワークを利用するなど、確実に連絡が伝達されるよう体制を整えておく。

【放課後児童クラブについて】

- ・ 登校後、暴風警報が発表された時、放課後児童クラブは開所する。ただし、状況により保護者に早い迎えを依頼する。
- ・ 登校後、特別警報が発表された時、放課後児童クラブは開所する。特別警報が解除され、安全が確認された後、保護者に早い迎えを依頼する。
- ・ 停電等による電気または水道の不通時に学校が休校の時、放課後児童クラブは閉所する。

○ 警報の発表・解除の情報について、各家庭においてテレビやラジオ、インターネット等から情報を入手するよう事前に働きかけておく。

「南海トラフ地震臨時情報」発表時及び大規模地震（震度 5 弱以上）発生時、その後の対応基準

磐田市教育委員会

南海トラフ地震臨時情報 (調査中・巨大地震注意)		南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒)	地震発生
		事前避難地域対象外校	事前避難地域対象校
登校前	○原則、防災対応なし ○地震への備えの再確認	○自宅待機 ※1週間程度の休校措置	○避難行動
登校中		①避難行動 ・学校、自宅へ ②その後の対応 《学校にいる場合》 ・ <u>保護者引き渡し</u>	①避難行動 ・学校、自宅又は一時避難場所へ ②その後の対応 《学校にいる場合》 ・ <u>安全が確認されたのち保護者引き渡し</u> 《学校以外にいる場合》 ・自宅又は避難所へ
在校中		①学校待機 ②その後の対応 ・ <u>保護者引き渡し</u>	①避難行動 ②学校待機 ③その後の対応 ・ <u>安全が確認されたのち保護者引き渡し</u>
下校中		①避難行動 ・学校、自宅へ ②その後の対応 《学校にいる場合》 ・ <u>保護者引き渡し</u>	①避難行動 ・学校、自宅又は一時避難場所へ ②その後の対応 《学校にいる場合》 ・ <u>安全が確認されたのち保護者引き渡し</u> 《学校以外にいる場合》 ・自宅又は避難所へ

【留意点】

- ・ 津波に関する情報が発令された場合は、自宅に帰さず、高台に避難させる。
- ・ 保護者引き渡しについては、兄弟姉妹関係を配慮し、学府（中学校区）ごとに引き渡し体制の確認をする。また、保護者への事前周知を徹底し、学校・園の対応を明確にする。
- ・ 登下校時の避難（場所、方法等）について、各家庭でも協議し、確認をするよう保護者に依頼する。
- ・ 自宅待機や休校措置をとった場合、その後の登校や学校再開に関する家庭への連絡は、連絡網や「いわたホッとライン」を利用する。なお、休校措置を登校前に決定したときは、速やかに教育総務課に報告する。
- ・ 電話やメール等が使用できない場合の連絡方法について、職員間だけでなく、保護者とも確認しておく。
- ・ 情報によっては、教育委員会の判断により対応を指示する場合がある。
- ・ 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表の段階では、避難所は開設されない。

【放課後児童クラブについて】

- ・ 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表時、事前避難地域対象校の放課後児童クラブは開所しない。
- ・ 震度 5 弱以上の地震が発生した時、放課後児童クラブは開所しない。

《用語について》

- ・ 避難所…被災者が避難生活を送る場所（学校や交流センターなどの公共施設ー市内 44 か所）
避難所は、災害事象が発生した場合（市内で震度 5 強以上の地震が発生した場合、震度 5 弱で被害が大きかった場合）に開設される。
- ・ 一時避難場所…命の危険を守るために一時的に避難する場所

大津波警報・津波警報・津波注意報発表時及び解除時等の対応基準

磐田市教育委員会

	大津波警報・津波警報		津波注意報
	発 表	解 除	
登 校 前	○避難行動又は自宅待機	○午前 10 時前 登校 ○午前 10 時以後 休校	津波の発生が、遠地近地にかかわらず、津波（一波・二波）が到着しても被害が生じる高さではないと学校が判断した場合、登校前、登校中、在校中、下校中、全て通常通りの対応となる。 ただし、海岸近くにいる場合は、すぐにその場から離れ避難行動をとる。 ※注意報から警報に変更された場合には速やかに警報の対応をとる。
登 校 中	○避難行動	○午前 10 時前 通常通り 《学校にいる場合》 ・通常通り ※ただし、被害状況により保護者引き渡し 《学校以外にいる場合》 ・登校後、通常通り ※ただし、登校後被害状況により保護者引き渡し ○午前 10 時以後 休校 《学校にいる場合》 ・保護者引き渡し又は下校	
在 校 中	○学校待機又は避難行動	○通常通り ※ただし、被害状況により保護者引き渡し	
下 校 中	○避難行動	《学校に避難してきた場合》 ・保護者引き渡し又は下校 《学校以外にいる場合》 ・自宅又は避難所等へ移動	

◎ 原則として学校長・園長が判断する。

【留意点】

- 第 4 次地震被害想定で津波浸水地域を学区にもつ学校が対象であるが、想定地域外であっても状況によっては同様の対応になる場合がある。また、遠隔地地震による津波情報が発表された場合にも同様の対応とする。
- 津波発生の有無に関わらず、上記の対応基準に沿うこととする。
- 津波注意報であっても、災害の発生や突然の警報への変更があり得るため、情報には常に留意し、危機感をもって対応する。なお、注意報でも避難所が開設される場合があるため、開設時の支援が必要となる場合がある。
- 登校中や在校中に警報が解除された場合、安全が確認できれば、通常の対応となることもある。そうした場合の対応については、事前に周知徹底を図るとともに、連絡網や「いわたホッとライン」を利用して各家庭に連絡する。
- 別紙『「南海トラフ地震臨時情報」発表時及び大規模地震（震度 5 弱以上）発生時、その後の対応基準』【留意点】に準ずる。

【放課後児童クラブについて】

- 登校前に大津波警報・津波警報が発表された時、放課後児童クラブは開所しないが、学校へ登校となった場合は開所する。

《用語について》

- 避難行動…学校又は高台、避難タワー等の避難場所への避難

参考一津波警報・注意報の種類

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置をすぐに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分（一部の地震※については最速2分程度）を目標に、大津波警報、津波警報または津波注意報を、津波予報区単位で発表します。

（※日本近海で発生し、緊急地震速報の技術によって精度の良い震源位置やマグニチュードが迅速に求められる地震）

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の 場合の発表	
大津波 警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。ただちに海岸や川沿いから離れ、高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波 警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。ただちに海岸や川沿いから離れ、高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波 注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。ただちに海から上がって、海岸から離れてください。

災害による「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示」の避難情報が発令された場合の対応基準

I 台風、河川氾濫等の危険により避難情報が発令された場合

	家庭	学校	
	登校前	午前	午後
避難情報が発令された地区がある学校	○自宅待機 ○発令地区は避難行動	○残留	○残留 <u>気象状況を考慮し、 以下を原則に対応する。</u> ※下校時、避難情報発令地区の児童生徒は保護者引渡し ※それ以外の児童生徒は、安全に留意して下校
避難情報が発令されていない地区の学校	○登校	○通常通り	○通常通り ※下校時、安全に留意させる
解除された場合	午前 10 時までに解除 ○登校	○通常通り	○通常通り

II 土砂災害警戒情報で発令された場合

	家庭	学校	
	登校前	午前	午後
避難情報が発令された地区がある学校	○自宅待機 ○発令地区は避難行動	○残留	○残留 <u>気象状況を考慮し、 以下を原則に対応する。</u> ※下校時、自宅が警戒区域にある児童生徒とそこを通る児童生徒は保護者引渡し ※それ以外の児童生徒は、安全に留意して下校
避難情報が発令されていない地区の学校	○登校	○通常通り	○通常通り ※下校時、安全に留意させる
解除された場合	午前 10 時までに解除 ○登校	○通常通り	○通常通り

※ 各学校では、土砂災害警戒区域に自宅がある児童生徒、そこを通過して通学する児童生徒を確認しておく。(別表参照)

※ 避難行動とは…家庭での避難準備、避難所（指定避難所）への避難

(別表) 土砂災害警戒区域が含まれる地区

中学校	小学校	避難対象地区(自治会)
磐田第一	磐田西	西新町、京見塚
城山	磐田北	東坂町、二番町、美登里町、元宮町、権現町、住吉町、幸町
	富士見	東大久保、富士見町
向陽	大藤	大藤第6区、大藤第2区、大藤第4区、大藤第13区
	向笠	笠梅、向笠竹之内、向笠西、篠原、岩井
	岩田	寺谷新田、寺谷塚上、寺谷塚下、匂坂上、匂坂中上、匂坂中下、匂坂新
神明	東部	新貝
	田原	三ヶ野、明ヶ島、東部台
豊田	豊田北部	加茂東、匂坂下、気賀東、富里
	豊田東	富丘広野、富丘下原、富丘原新田
豊田南	豊田南	一言北原
豊岡	豊岡南	上神増、社山、神増、平松、掛下、惣兵衛
	豊岡北	神田、栗下、本村、田川、亀井戸、大楽地、合代島上、合代島下、敷南区、敷上区、大平南、大平北、虫生、万瀬

(参考) 磐田市土砂災害警戒区域・特別警戒区域マップ(磐田市ホームページ)

https://www.city.iwata.shizuoka.jp/sangyou_business/tochi_douro_kasen/1002192.html

(参考) 静岡県土砂災害情報

<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/sabouka/dosyasaigaijouhoumap.html>

【留意点】

- ・大雨による避難情報発令時の対応であるため、雨量や冠水等の状況に応じて、下校または学校残留の判断をする必要がある。児童生徒の安全を第一に考え、学校長の判断により措置を講ずる。
- ・保護者引渡しについては、兄弟姉妹関係を配慮し、学府(中学校区)ごとに引き渡し体制の確認をする。また、保護者への事前周知を徹底し、学校の対応を明確にする。

【放課後児童クラブについて】

- ・登校後、避難情報が発令された時、発令地区の放課後児童クラブは開所する。ただし、状況により保護者に早い迎えを依頼する。

弾道ミサイル等発射に係る J アラートが静岡県内に発令された場合の対応
磐田市教育委員会

弾道ミサイル等発射に係るJアラートが静岡県内に発令



「弾道ミサイル落下時の行動について」に基づく避難行動		
登校前（家庭）	登下校中	在校中（学校）
○自宅待機	○避難行動	○学習活動中止 ○残留
「弾道ミサイル落下時の行動」（別紙）		



通過または落下後		
磐田市に影響がなかった場合		
登校前（家庭）	登下校中	在校中（学校）
○登校 ・同報無線やニュース等を通して、磐田市に影響がないことが確認できた後、登校。 ・不審な物（落下物等）を発見した場合は、決して近寄らず学校へ報告し、学校から警察・消防へ連絡。	○登校（下校） ・同報無線やニュース等の情報から、磐田市に影響がないことが確認できた後、登校（下校）。 ・登校（下校）時に、不審な物（落下物等）を発見した場合は、決して近寄らず学校（保護者）へ報告し、学校（家庭）から警察・消防へ連絡。	○学習活動再開 ○通常通り下校 ・下校時に、不審な物（落下物等）を発見した場合は、決して近寄らず保護者へ報告し、家庭から警察・消防へ連絡。
磐田市に影響があった場合		
○「弾道ミサイル落下時の行動について」に基づく避難行動を継続 ・学校へは、磐田市危機管理課からの情報等や学校の対処等について、教育委員会から通知する。 ・保護者へは、学校からのメール等を通して、学校の対応について連絡する。連絡があるまでは、「弾道ミサイル落下時の行動について」に基づき、身の安全を最優先に行動する。		

※弾道ミサイル等が静岡県周辺に飛来する可能性がある場合には、Jアラート（全国瞬時警報システム）を使用し、市の同報無線で警報（サイレンとメッセージ）が流れます。また、携帯電話等に緊急速報メールが配信されます。

※（参考）内閣官房 国民保護ポータルサイト ～Jアラートについて～
<http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/nkjalert.html>

【放課後児童クラブについて】

- ・通過後または落下後、磐田市に影響がなかった場合、放課後児童クラブは開所する。影響があった場合、保護者へはメール等を通して対応について連絡する。



弾道ミサイル落下時の 行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動 ②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト

武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。

http://www.kokuminhogo.go.jp/shinyou/hogo_manual.html



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai

ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます



Jアラート (例) 直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難して下さい。ミサイルが落下する可能性がありま。直ちに避難して下さい。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

近くの建物の中から
地下に避難。

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。



- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

Procedimento Padrão para Anúncio e Cancelamento do Estado de Alerta para Forte Tempestade Provocado por Tufão (TAIFÚ), etc.

台風等による暴風警報等発表時及び解除時等の対応基準

磐田市教育委員会 Secretaria de Educação da Cidade de Iwata

Horário Tipos de avisos	FAMÍLIA	ESCOLA / ESCOLINHA INFANTIL (yochien/hoikuen/kodomoen)	
	登校前 antes de chegar na escola	午前 manhã	午後 tarde
注意報 (chūi-ho) ALERTA	○ VIR NA ESCOLA	○ VIR NORMALMENTE	○ VIR NORMALMENTE • Dependendo da situação serão dispensados para voltarem para casa
警報 (keihō) ALARME	○ AGUARDAR EM CASA	○ AGUARDAR NA ESCOLA • Dependendo da situação serão dispensados para voltarem para casa	○ AGUARDAR NA ESCOLA • Dependendo da situação serão dispensados para voltarem para casa
解除 (kaijō) CANCELAMENTO	○ Se antes das 10:00h, VIR NA ESCOLA ○ Se depois das 10:00h, NÃO TEM AULA		

※ 「ESTADO DE ALERTA ESPECIAL por causa do tempo, etc.」

Horário Tipos de avisos	FAMÍLIA	ESCOLA / ENSINO INFANTIL (yochien/hoikuen/kodomoen)	
	登校前 antes de chegar na escola	午前 manhã	午後 tarde
特別警報 (tokubetsu keihō) ALARME ESPECIAL	○ AGUARDAR EM CASA	○ ESPERAR NA ESCOLA	○ ESPERAR NA ESCOLA
解除 (kaijō) CANCELAMENTO	○ AGUARDAR EM CASA	○ Após verificado ser seguro, os estudantes serão dispensados para voltarem andando para casa ou executado o procedimento de “Hikiwatashi” (pessoa autorizada vir buscar o estudante na escola)	

◎ Por regra, a decisão será tomada pelo diretor de escola/escolinha infantil.

【留意点】Precauções:

- O estado de alerta especial é anunciado quando previsto um fenômeno anormal com danos grave que excedem ao do padrão de estado de alerta.
- Para declarações de alerta que são difíceis de enquadrar no procedimento padrão (nevasca, chuva forte, neve forte, inundação, etc.), o diretor de escola/escolinha infantil dará prioridade a segurança do estudante e decidir a medida, e então imediatamente relatará ao setc Kyōiku Sōmuka (Assuntos Gerais de Educação).
- Caso falte eletricidade e/ou água às 6:30 am, por regra a escola será fechada. Esta decisão será tomada por cada escola/escolinha infantil, e prosseguido até ambos serem restaurados, eletricidade e água. Os responsáveis receberão este aviso através do meio disponível, como o “Iwata HotLine” e outros.
- Quando a escola for reaberta em segurança após restaurados a eletricidade e a água, na hora do estudante vir para a escola, pode haver a possibilidade do estudante precisar trazer um OBENTÔ, e nesse caso é permitido qualquer comida disponível na casa (pão doce, comida emergencial estocado em casa, etc.).
- Quanto ao procedimento HIKIWATASHI (vir na escola buscar o filho/a) envolver irmãos/irmãs, deixar checado a forma como será realizado dentro da área escolar integrada (Chugakko e os shogakkos que integram a zona escolar do Chugakko). E ainda, os pais devem ter conhecimento prévio e certeza da forma como será realizado na escola/escolinha infantil.
- Depois do procedimento “AGUARDAR EM CASA” ou “ESCOLA FECHADA”, avisaremos o horário de vir para a escola através da “rede de recado entre as famílias” e/ou o sistema de aviso e-mail “Iwata HotLine”.
- Dependendo da condição meteorológica, o procedimento pode ser decidido pela Secretaria de Educação e avisado via fax, e-mail, sistema de aviso e-mail “Iwata HotLine”, etc.
- O aviso às famílias será feito pela “rede de recado entre as famílias” e/ou o “Iwata HotLine”. Em adicional, será incentivado para se cadastre no sistema de aviso e-mail “Iwata HotLine”, sendo possível fazer a qualquer hora.
- Haver um sistema de aviso eficiente para que todas as famílias de nacionalidade estrangeira recebam o aviso, podendo ser uma rede de recado entre as famílias de nacionalidade estrangeira, etc.

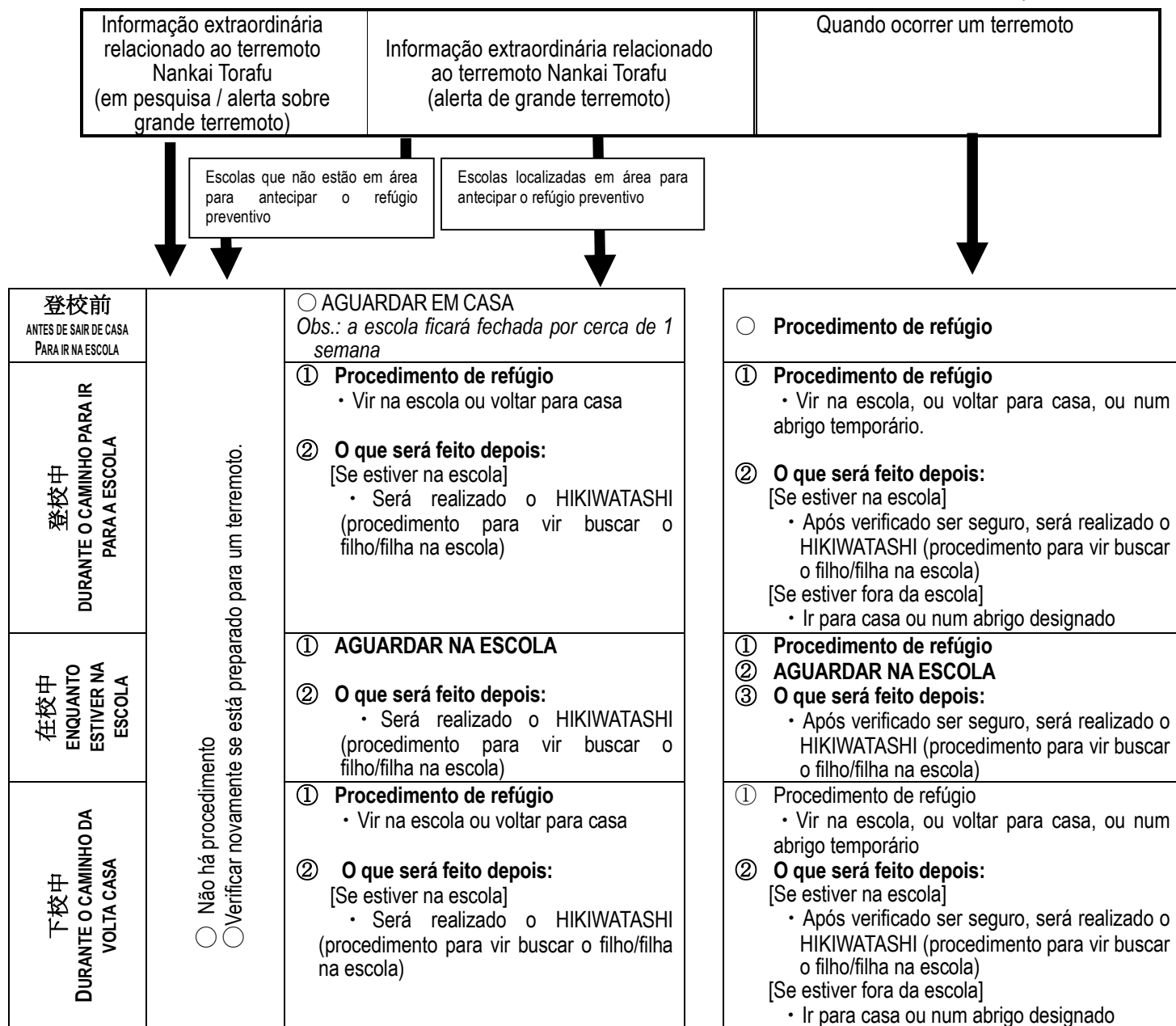
【放課後児童クラブについて】 Sobre o Hōkago Jidō Kurabu (creche de escola)

- Se o estado de alerta para FORTE TEMPESTADE for anunciado depois dos estudantes chegarem na escola, o Hōkago Jidō Kurabu **será aberto. Porém, dependendo da situação pode ser solicitado para que o responsável venha buscar mais cedo.**
- Se for anunciado o ESTADO DE ALERTA ESPECIAL depois dos estudantes chegarem na escola, o Hōkago Jidō Kurabu **será aberto. Após cancelado estado de alerta especial, e confirmado ser seguro, será solicitado para que o responsável venha buscar mais cedo.**
- Quando a escola fechar por falta de energia ou água, o Hōkago Jidō Kurabu **será fechado.**

○ Esforçar-se em obter cedo as informações sobre o anúncio/cancelamento de estado de alerta através da TV, rádio, internet, etc.

南海トラフ地震に関連する情報（臨時）発表時及び大規模地震（震度5弱以上）発生時、その後の対応基準
Procedimento para Quando e Depois de Anunciado Informações Relacionados ao Terremoto NANKAI TORAFU & Grande Terremoto (magnitude acima de 5-fraco)

磐田市教育委員会 Secretaria de Educação da Cidade de Iwata



【留意点 Precauções:】

- Ao ser anunciado um aviso sobre o *tsunami*, ao invés dos estudantes voltarem para casa irão se refugiar num lugar alto.
- Sobre o “HIKIWATASHI” (vir buscar o filho/filha na escola), por haver consideração os irmãos/irmãs, favor verificar a forma como funciona o sistema de HIKIWATASHI dentro das escolas integradas ao distrito escolar do Chugakko do bairro. E ainda, os pais/responsáveis serão informados com antecedência, e com clareza, sobre o procedimento na escola/escolinha infantil.
- Sobre onde refugir quando estiver no caminho de ida/volta da escola (onde fugir, como agir, etc.), o familiar deve fazer com que o filho/filha entenda, e com clareza, sobre o que fazer.
- No caso de ficar aguardando em casa ou da escola ser fechada, iremos avisar depois o horário de vir/reabertura da escola pela “lista de passar recados família-para-família” ou então o “sistema e-mail “Iwata HotLine””. Se a decisão de fechar a escola ocorrer antes dos estudantes virem para a escola, imediatamente será relatado à Secretaria de Educação – Setor de Assuntos Gerais de Educação.
- Tanto entre os funcionários da escola e os pais/responsáveis, é preciso deixar esclarecido a forma de contacto quando não for possível usar o telefone, e-mail, etc.
- Dependendo da informação anunciada, a secretaria de educação tomará uma decisão e depois instruir o procedimento a ser seguido.
- Os abrigos designados não serão abertos em anúncio à nível de INFORMAÇÃO extraordinária relacionado ao terremoto Nankai Torafu (ou Grande Terremoto).

【児童クラブについて】 Sobre o JIDOU KURABU (clubinho da criança após as aulas)

- Quando anunciado uma informação extraordinária relacionado ao terremoto Nakai Torafu (Alerta de Grande Terremoto), os Jidōs Kurabus das escolas localizadas em área para antecipar o refúgio por precaução serão fechados.
- Quando ocorrer um terremoto de magnitude acima de 5-fraco, então os Jidōs Kurabus serão fechados.

＜用語について＞ sobre o significados de certos vocábulos:

- 避難所・・・abrigo designado é um lugar onde as vítimas de desastres podem viver (na cidade há 44 prédios públicos: escolas, centro comunitários, etc.)
- 一時避難所・・・o abrigo temporário é um lugar para se abrigar temporariamente para proteger a vida do perigo.

大津波警報・津波警報・津波注意報発表時及び解除時等の対応基準

PROCEDIMENTO PADRÃO PARA QUANDO ANUNCIADO AVISOS RELACIONADOS AO TSUNAMI (tsunami):

“OTSUNAMI KEIHO” (alarme de grande tsunami), “TSUNAMI KEIHO” (alarme de tsunami), “TSUNAMI CHUI” (alerta de tsunami) e “KAIJO” (cancelamento)

磐田市教育委員会 Secretaria de Educação da Cidade de Iwata.

	大津波警報・津波警報 AVISOS RELACIONADOS AO TSUNAMI E GRANDE TSUNAMI		津波注意報 Aviso de Alerta de Tsunami “TSUNAMI CHUUIHO”
	発 表 Ao ser DECLARADO “HAPPYO”	解 除 Ao ser CANCELADO “KAIJO”	
登校前 Antes vir na escola	○ Procedimento de refúgio/ Aguardar na casa	○ Antes das 10:00 am: vir na escola ○ Depois das 10:00 am: escola fechada (não tem aula)	Independente do tsunami ter sido originado de um local distante ou próximo, caso o diretor julgue que a altura de chegada não é prejudicial (1ª/2ª onda), mesmo quando estiver em casa/durante o caminho/ou tiver chegado na escola, a escola seguirá com a rotina normal. Porém, afastar-se imediatamente de perto do mar, e seguir o procedimento de refúgio. ※ Se do estado alerta (CHUI) mudar para alarme (KEIHO), seguir o procedimento de ESTADO DE ALARME imediatamente.
登校中 No caminho para a escola	○ Procedimento de Refúgio	○ Antes das 10:00 am : rotina normal 《Caso esteja na escola》 • rotina normal ※ Mas, dependendo da condição dos danos, realizado o “HIKIWATASHI” (o responsável deve vir buscar na escola) 《Se estiver fora da escola》 • Após chegar na escola, seguido a rotina normal ※ Mas, dependendo da condição dos danos após vir na escola, pode ser realizado o “HIKIWATASHI” (o responsável deve vir buscar na escola) ○ Após às 10:00 am: escola fechada 《Se estiver na escola》 • Realizado o procedimento “HIKIWATASHI” (responsável deve vir buscar na escola) ou o procedimento para os alunos voltarem andando para casa	
在校中 Na escola	○ Aguardar na escola / Procedimento de Refúgio	○ Rotina normal ※ Mas, dependendo da condição dos danos, realizado o “HIKIWATASHI” (o responsável deve vir buscar na escola)	
下校中 No caminho de volta da escola	○ Procedimento de Refúgio	《Se procurar refúgio na escola》 • Realizado o procedimento “HIKIWATASHI” (responsável deve vir buscar na escola) ou o procedimento para os alunos voltarem andando para casa 《Se estiver fora da escola》 • Ir para casa, um abrigo designado, etc	

【留意点 Precauções:】

- O procedimento é para as escolas das áreas propensas à inundação por tsunami causado por terremoto de estimativa de dano 4, mas dependendo da situação pode ser usado em outras áreas não previstas. E também para anúncio de informação de tsunami causado por um terremoto ocorrido em local distante.
- Independente de haver ou não um tsunami, o procedimento acima será seguido.
- Mesmo que seja um aviso de alerta para tsunami, deve-se estar alerta às mudanças repentinas para o caso de ocorrer um desastre ou alterar o tipo de aviso, por isso fique sempre atento às informações. E ainda, abrigos designados podem ser abertos com avisos de alerta, nesse caso pode ser necessário um apoio no momento da abertura.
- Caso o alarme seja cancelado durante a ida ou após ter chegado na escola, ao ser confirmado ser seguro, a escola seguirá com a rotina normal. Nesse caso será feito o possível para informar cada família imediatamente através da “lista de recados entre as famílias” e/ou o sistema e-mail de aviso “Iwata HotLine”.
- Na outra folha consta o procedimento para quando ocorrer e como agir depois que for anunciado informações extraordinárias relacionados ao terremoto Nankai Torafu e o Grande Terremoto (magnitude acima de 5 fraco), conferir as “precauções”.

【児童クラブについて】 Sobre os Jidō Kurabus

- Caso seja anunciado o alerta de grande tsunami ou tsunami antes de chegar na escola, o Jidou Kurabu não funcionará, mas se ficar decidido que os estudantes devem vir na escola, então o Jidō Kurabu será aberto.

PROCEDIMENTO DE REFÚGIO... ir num local designado como abrigo seguro, como escolas, locais altos, torres de refúgio, etc.